

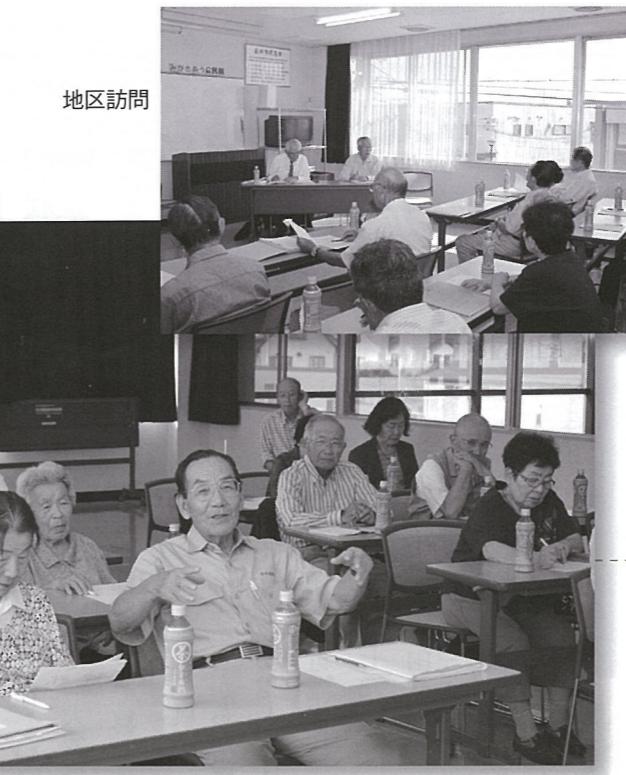


趣味クラブで 若手高齢者の仲間づくり

静岡県 シニアクラブ袋井市（袋井市老連）

クラブ数・60 会員数・3262名（男性・1388名・女性・1874名）

袋井市は人口8万7千人余り、65歳以上人口は1万8千人、加入率18%という現状です。年々、会員の高齢化が進み、役員の受け手がないため休会すること、特に若手の会員を増やすことが課題となっています。



地区訪問



新設されたグラウンド・ゴルフクラブ

① 地区訪問

正副会長、単位クラブ活動推進相談員※の中から二人でペアを組み、市内の16地区（自治会連合会単位で組織）に出向いて、地区や単位クラブの課題や問題点、連合会に対する意見や要望などを話し合っています。開催時期は9～10月、会場は地区公民館などです。その結果は常任理事会で報告、「シニアクラブ袋井市だより」でお知らせしています。

② 単位クラブの入会勧誘

「一人が一人を入会させる」を目標に12月から翌年2月にかけて単位クラブの役員や会員が非会員に直接会って入会を勧めさせています。

ています。

③ 加入促進部会の設置

平成22年に若手委員会からの提言を受け、24年度から専門部会として「加入促進部会」を設け、会員加入の促進策等について協議・提案を行っています。

※「単位クラブ活動推進相談員」は静岡県の制度で、袋井市には8人が任命されて活動費が助成されている。

二つの趣味クラブが 活動開始

25年10月、趣味クラブ会員募集が開始され、年末までに、ゴルフや釣りなど10のジャンルに40名の応募がありました。グラウンド・ゴルフとちよい旅クラブはそれぞれ

7名ずつでしたが、グラウンド・ゴルフクラブは7名ずつでした。

もう少し会員数が欲しいゴルフや釣りクラブなどの会員を引き続

き募集するとともに、26年度はウォーキングや自然観察、健康体操など、

クラブのジャンルを増やして会員募集を行う

地区訪問では、75歳未満の会員が入会しないこと、役員の受け手がないことがよく課題として話し合われます。特に、団塊の世代を中心とした60歳代は、シニアクラブ会員の高齢化に伴う年齢感覚の相違、役員を強要されることへの拒否反応、仕事の継続などにより、加入はかなり難しくなっているのが現状です。このままでは、60代を中心とした70歳代前半までの若手高齢者の活動が減少し、地域活動においても組織として抜け落ちてしまう恐れがあります。

こうした懸念に対応するため、25年度には6回の加入促進部会が開催され、若手高齢者対策をどうするか話し合いました。そ

の中で、若手高齢者が集う場所として、彼らが最も興味を示す「趣味クラブ」を組織し、仲間づくりを進めていくことが提案され、市内全域から非会員を中心に募集することになりました。

予定です。

趣味クラブのメリットは、①だれでも入会できる、②自分たちで好きなようにクラブ運営できることです。

今後の課題は、

- ① 単位クラブにおける趣味クラブとの競合を避ける
- ② 組織としての趣味クラブの位置付け
- ③ 必要とする人たちへの有効なお知らせをどう確保するか

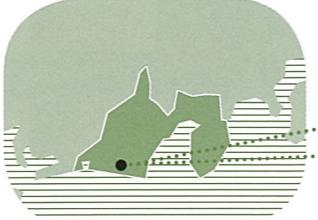
などが考えられます。

今後の趣味クラブの会員募集については、より有効な方法を考えたいと思っています。市の広報や新聞、テレビ、口コミ。

そして、今年度開設した連合会のホームページを充実させたいと思っています。

近い将来、例えば、パソコンクラブが他のクラブの行事参加者募集や写真クラブが撮った写真付きのスポーツ大会結果のお知らせをホームページにアップするなど、クラブの枠を越えて趣味クラブ活動が展開されるようになれば最高だなと夢想しています。

（事務局長 松井久）



静岡県
袋井市

26年4月には16名で活動を開始しました。6月末にはちょい旅クラブ7名ずつでしたが、グラウンド・ゴルフクラブは7名ずつでした。

もう少し会員数が欲しいゴルフや釣りクラブなどの会員を引き続

き募集するとともに、26年度はウォーキングや自然観察、健康体操など、

クラブのジャンルを増やして会員募集を行う

シニアクラブ袋井市の 「会員加入促進運動」